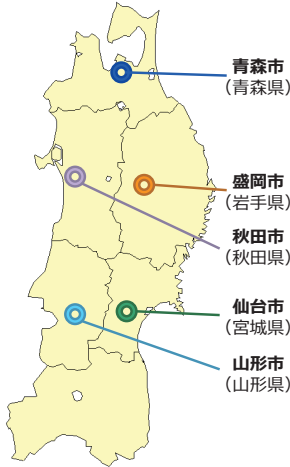


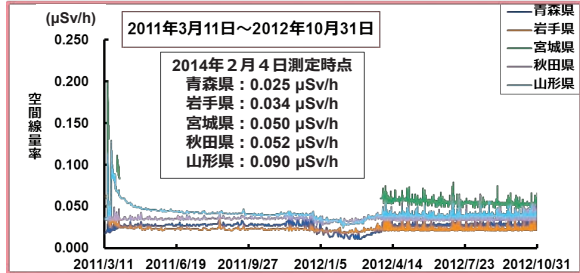
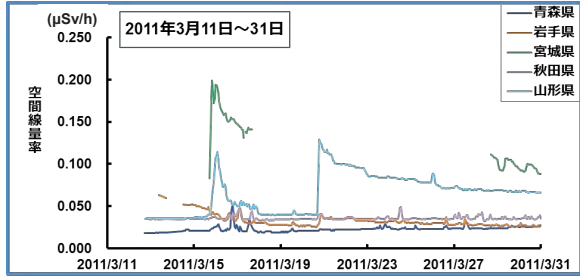
空間線量率の
時空間分布

東北地方における空間線量率の経時変化



仙台市は震災の影響で長期間データが存在しない

μSv/h : マイクロシーベルト/時



文部科学省環境放射能水準調査結果、環境放射線データベース*より作成 ※ : 現在は原子力規制委員会が担当

東北地方の各県のモニタリングポストの所在地は、東京電力福島第一原子力発電所から近い順に、仙台市 (95km)、山形市 (110km)、盛岡市 (250km)、秋田市 (270km)、青森市 (380km) です。

各地点の空間線量率の推移を見ると、東北地方には平成 23 年 3 月 15 日から 22 日の 1 週間の中に放射性物質が移動してきたものと考えられます。その後、空間線量率が事故前のレベルに下がらなかった理由としては、降雨等により、地上に放射性物質が降下し、沈着したことが考えられます。

なお空間線量率のデータは、平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月は環境放射線データベースのデータを、平成 23 年 3 月と平成 24 年 4 月以降は環境放射能水準調査結果を用いています。

(関連ページ : 下巻 P21、「現在の空間線量率の状況」)

本資料への収録日 : 平成 25 年 3 月 31 日

改訂日 : 平成 28 年 1 月 18 日